

易経入門の入り口は「龍」

占いに ウラナひあり



竹村亜希子

講座篇II

さて、72回にわたつ 龍の話に引かれて易経

て書き続けてきた『易』を読み始めたのだが、

『経』の解説

だが、易経

入門の一番

手ごろな入り口は「龍」 易経すべてに龍の話が
展開されているわけ

事実、わたしもまた、
はない。

一番初めの卦「乾为天」

さらには、君子の

在り方を龍になぞらえ
て解説しているリーダ

ー論ともいえる。

易経の最初に出てくる「乾为天」という卦（か）に書かれているのだ。乾为天は人生や会社、団体、プロジェクトなどがどのような伸びて、どういった場合に没落していくのかを、龍の変遷になぞらえて説明しているのである。

易経に関するわたしも難解とされる易経の著作は「リーダーの易経」（PHP研究所）と評価された。と「人生に生かす易経」 本を読むのは少しの2冊がある。いずれ

も難解とされる易経の「耳で聞く本」を今年1月に出している。日本経済新聞社のオーディオブックだ。

問題

東場3局。出入り
はなしで配給原点の
ままの東家。

トップとは5200点の差。
親番を迎えてドラは(四)です。
連荘をしたい5巡目に(五)を入
手した場面。

何を切る？

実践麻雀

ここで次の応手が考えられる
が、どう構えるのがいい？

解答は左下に

三万	三万	六万	七万	八万	九万	一筒	二筒	三筒	四筒	五筒	六筒	七筒	八筒	九筒	東	七万	ドラ	モ	ツ
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	---	---

- ① 七万切り
- ② 二万切り
- ③ 三筒切り

その第1弾が『易経入門／乾为天』。つまり易経にあつて龍の話が書かれている「乾为天」を江守徹さんが朗読し、わたしが解説しているもので、なんと売上高で7位にまで達した人気本である。

ちなみに第2弾は『易経入門／既濟・未済／創業と守成』で、GW前に出ていて好評である。参考までに。

(おわり)